



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1997年10月1日発行 第13号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

サンチャゴ・サラス駐日スペイン大使、 当協会名誉会長に就任

去る5月23日に開催された、本年度第1回理事会において下山会長より、サンチャゴ・サラス駐日スペイン大使の当協会名誉会長推挙が提案され、全理事の賛成を得ました。

これを受けて6月18日、下山会長がスペイン大使館にサンチャゴ・サラス大使を訪ね、直接お願いしたところ、快くお引き受けいただきました。

すでにAIYES通信7号（1995年6月1日付発行）にサンチャゴ・サラス大使のプロフィールについてはご紹介してありますが、ここに改めて横浜スペイン交流協会名誉会長として、再度ご紹介いたします。

< サンチャゴ・サラス大使の略歴 >

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 1946年 | スイスに生まれる
マドリード・コンプルテンセ大学で政治学を専攻 |
| 1973年 | スペイン外務省に入省 |
| 1974年～76年 | 在リビアスペイン大使館に二等書記官として勤務 |
| 1976年～80年 | 在アメリカ合衆国スペイン大使館に一等書記官として勤務 |
| 1980年～83年 | 在エジプトスペイン大使館文化担当参事官として勤務 |
| 1983年～85年 | スペイン外務省で首席報道官 |
| 1985年～90年 | 外務大臣首席秘書官 |
| 1990年～94年 | 駐インド大使(ネパール、バングラディシュ、スリランカ、モルディブ大使兼務) |
| 1994年12月 | 駐日スペイン大使に着任 |
| 1997年 6月 | 横浜スペイン交流協会名誉会長に就任 |



なお、当協会ではサンチャゴ・サラス大使の名誉会長就任を記念して、本年度のスペイン・サロンにおいて、大使に記念の講演をしていただけるよう現在検討しています。

日時・会場等、具体的になりましたら会員の皆様にお知らせいたしますので、ぜひともお友だちや、お知り合いに声をかけていただき、一人でも多くの方々のご参加をお願いいたします。

第三回スペイン友好使節団親善交流 『さくら植樹』事業について

本年4月1日付『AIYES通信』(第11号)に本事業の概要を発表しましたが、その詳細が決まりましたので、ここにご紹介します。

- ◇ 実施時期 1998年(平成10年)2月8日(日)～2月17日(火)の10日
 - ◇ 公式訪問都市 セビリア市およびロンダ市
 - ◇ 行 事 公式訪問都市において、市庁舎表敬訪問。植樹式。ヨコハマデーの開催
 - ◇ 日 程
- [第1日目] 2月8日(日) 日本航空(予定)にてアムステルダム経由マドリードへ (マドリード泊)
- [第2日目] 2月9日(月) マドリードよりAVE(スペイン新幹線)にてセビリアへ
着後：市庁舎表敬訪問(植樹式) (セビリア泊)
- [第3日目] 2月10日(火) ヨコハマデー開催 終日：自由行動 OP：市内観光 (セビリア泊)
- [第4日目] 2月11日(水) 専用バスにてロンダへ 着後：市庁舎表敬訪問(植樹式) (ロンダ泊)
- [第5日目] 2月12日(木) ヨコハマデー開催 終日：93年植樹のさくら訪問 自由行動 (ロンダ泊)
- [第6日目] 2月13日(金) 専用バスにてマラガへ 着後：OP：コスタ・デル・ソル観光 (マラガ泊)
- [第7日目] 2月14日(土) 終日：自由行動 OP：グラナダ観光 (マラガ泊)
- [第8日目] 2月15日(日) マラガより航空機にてマドリードへ 着後：OP：トレド観光 (マドリード泊)
- [第9日目] 2月16日(月) マドリードよりアムステルダム経由東京(成田)へ (機内泊)
- [第10日目] 2月17日(火) 東京(成田)着 通関後、解散

◇ 旅行代金

会員価格：249,400円 / 一般価格：259,400円

◇ 行事詳細

セビリア市およびロンダ市において行われる市庁舎表敬訪問では、横浜市長のメッセージの伝達をはじめ、当協会よりの贈呈品贈与式を行います。

また植樹式では、日本より持参したさくらの苗木を数本植樹します。

ヨコハマデーでは、ヨコハマズーミング倶楽部の協力により、ヨコハマズーミング倶楽部会員の撮影したミナトヨコハマの紹介写真を展示した後、これを各都市に贈呈します。

さらに、写真展示会場において、スペインサロンで学習した「不思議な押し花」の指導を行いながら、セビリア・ロンダ市民との交流を行います。同時に、ここで「日本語」の簡単な指導も行います。

なお、本親善使節団に参加してこんな市民交流をしてみたい、といアイデアやご希望がありましたら、ぜひ事務局までお申し出ください。

§ ス페인桜便り §

会員の根岸清水・光子さんご夫妻が、スペインロングステイを実施され、そのおりロンダに立ち寄り、協会が1993年3月に植樹した「さくら」のその後を確認してきてくれました。

以下は、その報告です。うれしいことに「さくら」はしっかり根付いているようです。

見つけた、ロンダのさくら

Ronda 市訪問記 (1997 年 6 月 9 日)

根岸清水／光子

私共2人で、去る6月9日に Ronda に行く機会がありましたので、当日の模様を会員の皆様にお伝えしたいと思います。

今回の私共のスペイン行きは Long Stay が目的でしたので、滞在先を Marbella 市 (Malaga より 60Km 西方) とし、1ヶ月間住んでみることにしました。

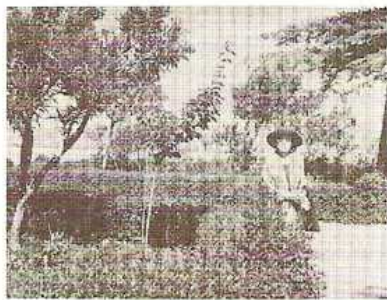
先に、飯塚常務理事より、「Ronda の桜植樹の結果がどうなっているのか、見て来て欲しい」と依頼されましたので、早めにと思い、上記6月9日、全くのお忍びスタイルで公園に参りました。

この町では、大型の公園地区は1つしかありませんので、すぐ判りました。要するに、新市街側の闘牛場から Puente Nuevo (ヌエボ橋) に至る南側の崖際に展開しています。この公園を通る小路が Paseo de Blas Infante で、2年程前に完成した Parador Nacional Ronda から真っすぐに闘牛場まで続いた通りになっています。

私共が公園に着いたとき、そこで1人の Jardinero が作業をしていましたので、日本から持っていった、Ronda 市でのさくら植樹の様子が掲載されている「さくら交流基金趣意書」を見せながら、思い切って尋ねてみました。

すると、偶然にもその Jardinero は植樹の当日、本人もそこに立ち会っていたというのです。彼の話によると私共の持っていった「さくら交流基金趣意書」に下山会長と写っている Jardinero は彼の友人で、Cristbal Gonzales Ortega さんという方だそうです。しかし残念ながら、この Ortega さんは2年ほど前に亡くなられたと、涙をながしながら語ってくれました。そして Ortega さんの亡き後、なんと彼がそれを引き継いでいるというのです。そこで、私共は彼に名を尋ねました。すると彼は「Francisco Guerra Gómez」と答えてくれました。

ところで、問題の桜の苗木ですが、私共が数えて見たところ6本程度確認することができました。



庭作りというのは難しいもので、将来大木になるのを見越して場所を決めている様子で、現在周囲にはバラを主に配して大型の木は無いように見受けられました。しかも、苗木をアンダルシアの夏の強い日差しから守るために、陰を作ってやるなどの細かい配慮も見られました。

苗木は今やっと人の背丈ほどで、幹の太さも3~4センチ位で、細い感じですが、そのうちの1本だけ、葉を広げて成長しているなという感じでした。

Sr.Gómezによれば、苗木の大部分は Contenedor (鉢のことか?) に入れて大事に保管しているとのこと。考えてみれば、植樹の場所の選定は慎重にしなければ、せっかくの苗木を枯らせてしまうことになり、その場所さがしは容易ではないでしょう。しかしながら、Sr.Gómezと話しをしていて、きっと彼が責任をもって良い場所に移し変えて下さるという思いが伝わってきました。

新しく植えたと思われる1本の苗木には「財・法 日本花の会 関山 (八重桜)」のタグが付けてありました。これを見た時、改めて苗木への愛しさが湧き出てくる思いでした。ついでのことと思い、市庁舎を訪ねてみたのですが、職員たちが市民との対応に追われている様子でしたので、Información の窓口で市長さんのお名前を尋ねたところ、Juan Fraile Cantón さんとのことで、植樹のさい感謝状を書かれたのもその人とのことでした。「まだ、お元気な

のですか」と尋ねたところ「その通り」との返事がありました。

以上が Ronda での当日の様子ですが、ゆっくりと苗木の観察ができましたので満足して帰路に就きました。

Marbella - Ronda 間は直通バスがあり、片道 1 時間ほどですので、散策には打ってつけの楽しい町です。私共が滞在した Marbella 市内は最早やバカンスのシーズンに入っており、ヨーロッパの各地より客が押しかけて賑わっていました。

6 月上旬には市制記念日を中心に 1 週間ほどの Feria が続き、人々は連日踊りと Vino を楽しんでいました。もし、Marbella に行かれるのであれば、このシーズンがおすすめです。

最後に人々がいかに花木を大事にしているか良く判る文言が、私共が借りた piso の台所に貼ってありましたので、ここにご紹介しましょう。“Les rogamos a Uds. que riegan las plantas en cada martes y viernes, gracias”

～編集部より～

今後、Ronda 市のさくらのようすを確認するには、Jardinero の Sr.Gómez にアクセスするのが早道のように思えますね。

また明年 2 月の Ronda への植樹の際には、ぜひとも Sr.Gómez にさくらの苗木が保管されている苗床を見せていただきたいものですね。

根岸さんご夫妻には、本報告に対し厚くお礼申し上げます。

実はこの Mansión の各 piso の veranda には、planter が備えてあり、新しい借手のために管理人が新しい花を植えてくれるのです。シーズン中は外側から眺めてもなかなかのものです。

以上で私共の報告を終えさせていただきます。



一番大きく育っている桜

会員投稿

スペインを訪問して

田野井 一雄 (協会参与)

私は昨年 (96. 4. 3～4. 13) 横浜市会ヨーロッパ視察団 (団員 12 名) の一員として、スペイン、ポルトガルを視察してまいりました。

出発前、港南区長時代、区の花ヒマワリを中心に横浜市としてはじめて区とスペインとの交流事業を実施した、横浜スペイン交流協会下山貞明会長とお会い致しました。

今回の視察の目的は、①市街地開発における中世建物と現代建物との調和のとり方、②スペイン、ポルトガルの環境保全対策、③大規模スポーツ施設 (オリンピック使用施設) の大会終了後の運営について等々でしたが、これに加えて下山会長より、さくら交流事業に関する資料をお預かりし、又色々とおアドバイスを頂き、スペイン・アンダルシア地方ロンダ市訪問、そしてスペイン日本大使館坂本大使との懇談会も計画して出発しました。



ロンダ市役所前にて

4月4日レストラン・ラ・ドラダにて、スペイン特命全権大使坂本重太郎大使と会食、懇談会が3時間にわたり開催されました。

坂本大使よりスペインの様々な状況と今後の方向などについて話し合い、そして下山会長よりお預かりした資料を大使にお渡し致しました。坂本大使も横浜スペイン交流協会についてよくご存じで「今後、桜の苗木の移植について、様々な問題点もあるが、日本大使館がもっともっと、しっかりとその間に入って積極的に応援して行きます」

と言う心強いお言葉を頂き感謝致しました。

きっと近い将来この事業がより充実して、成功に向かって前進して行くことを確信致しました。

そして4月9日ロンダ市を訪問、この街は道路が狭くバスをホテル・レイナビクトリアで降りて徒歩にてロンダ市役所を表敬訪問致しました。ロンダ市長はあいにく復活祭の関係で不在でしたが、代理としてスポークスマンのア

ントニオさんとお会いして、下山会長よりの資料を手渡し、今後益々の交流をお願い致しました。

今回参加した市議員の方々も横浜スペイン交流協会に入会し、いよいよ来年2月に予定されておりますさくらの移植交流事業に側面からご支援させて頂きます。

今後スペインとの交流事業が益々発展充実されますよう、心より祈念申し上げます。

会員投稿

サンチャゴ巡礼道を歩いて

< 最終回 >

笠島 眞佐恵

わたしどもより1カ月半くらい前に2人の日本人のお坊さまがこの道を歩いたとの噂を途中のあるbarの主人から聞きました。「巨大なsombbreroをかぶり、藁のサンダルをはいていた。なんでも西欧の霊的な道に興味があったそうだよ。すごく感じの良い人たちだった。」と言うのです。だぶん禅宗のお坊様ではないかと主人と話し合いました。それから各refugioごとに日本人の足跡がないかと気をつけていましたが、なかなか見つかりませんでした。2週間程して、前述のセブレイロ峠のrefugioで筆ペンで書かれた彼ら2人のサインを見た時には本当に感激しました。それも今まで歩いて来たカラカラにかわいた土地esetaから緑豊かなGaliciaに入り、ゆったりとした高地、山また山の雄大な風景の中の峠にある、ガランとした大きなrefugioの中のノートに元々日本から来たお坊さんの筆跡を見つけた訳ですから。あの時の感動は今でもいきいきと思い出します。道標はスペインにしては、ずいぶんしっかり付いています。帆立て貝のしるし、または黄色のペンキで矢印がありますから、それに従って歩いて行けばあまり道に迷うこともないでしょう。分からなくなったら、誰かにcaminoはどこかと聞けばたいに親切に教えてくれます。とにかく西を目指してゆけば間違いなのです。毎年各自治体、または教会、サンチャゴ友の会で道を整備していますので、これからはもっともっと歩きやすくなることでしょう。

自転車で行く人々も多かったのですが、やはり徒歩で行く人に比べ、若者、

または中年の人が多かったです。白髪の60代70代の方たちもたくさん歩いていました。「なんだか外人は強いなあ、このエネルギーで全世界を征服しまくったのか」というのがわたしの個人的な感想です。それと皆、実にお行儀が良いのです。refugioを朝早く出る人々は、まだ寝ている人を起こさない様に、実にそっと出て行くのです。ベッドから降りると音をたてないように手に靴を持って部屋の外に出て、そこではいていた人もたくさんいました。日本の山小屋の朝のようなごそごそがさという音もしないのには驚きました。もちろん例外もすこしはありましたが、巡礼者はみな感じの良い人達ばかりでした。最終の目的地サンチャゴ・デ・コンポステラに着くと、カテドラルの裏側の事務所でラテン語の証明書をくれますが、これは巡礼道を100キロ以上、徒歩、自転車、または馬で来たものに限ってくれるのです。また毎日12時に巡礼者ためのミサがあり、苦労して来た人々の中には感激の涙にぐれている人も多いのです。わたしどもはだいたい計画通りに歩き、巡礼道ならではの経験も多かったのですが、これ以上拙文を続けてもと思いますので、このあたりで筆を置かせていただきます。もしこれからいらっしゃる方とお会いの方がおいでしたら、一度きりの経験ですが、ご参考になる本などもございますので、ご連絡いただきたいと存じます。

笠島 眞佐恵

∞ 『さくら植樹』 交流基金募集 ∞

“アディオス1997・フラメンコショー” 開催決定

当協会のシンボル事業としての『スペインさくら植樹』は、桜の花を媒介にして市民相互の国際交流の発展を念願しています。平成10年2月に、第三回スペイン・アンダルシアさくら植樹親善訪問団をセビリヤ市、ロンダ市に派遣します。

多くの市民の方々に、『さくら植樹』事業のご認識とご理解をいただき、且つご支援をお願いする機会とするために、フラメンコショーを開催します。

収益は『さくら植樹』交流基金に当てます。

☆ 期 日 1997年12月4日(木) 19:00~20:30 開 場 18:30

☆ 会 場 エル・プラザ 3階ホール

☆ 交 通 JR根岸線 石川町駅北口(関内寄り)下車、徒歩3分

☆ 入場料 前売:4,000円、当日:4,500円 ウェルカムドリンク、サービス付

※ 会員、賛助会員の入場券取り扱いについてのお願い

今回は、協会として初めての300名規模のイベントになりますので、会員のご理解とご協力なしには不可能と思います。恐れ入りますが、全会員あてに前売り入場券と郵便振替用紙を同封させていただきます。

11月20日までに代金を最寄りの郵便局からお振り込みください。また、追加の入場券をご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

ご都合で参加できない方は、11月20日(消印)までに、不要な入場券を下記宛に、郵送でご返送くださるようお願い申し上げます。

なお、返送されない入場券については、ご購入なされたものとして取り扱わせていただきますので、ご注意ください。

☆ 主 催 横浜スペイン交流協会

☆ 後 援 スペイン大使館、スペイン政府観光局、神奈川新聞社

☆ 協 賛 スペインレストラン:『アマポーラ』、『オリーブ』、『カサ・デ・フジモリ』
JTB団体旅行横浜支店、太陽海外航空(株)、押し花の(有)コロネット

☆ 郵送宛先

〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2、かながわ県民活動サポートセンター気付
レターケース NO.184 横浜スペイン交流協会 宛

☆ 問い合わせ先 協会事務局 朝倉 郁
伴野芳信

∞ スペイン思い出の写真を募集 ∞

～ スペイン写真展(第四回)に全会員の出展参加を ～

11月15日から9日間にわたり、第四回スペイン写真展を、横浜駅西口のかながわ県民センターで開催します。

今回から趣向を変えて、会員が中心となり友人知人にも参加を呼び掛けて、それぞれのスペインの思い出の写真を持ち寄って展示し、お祭りのように仕立て上げたいと思います。

私の最も大切なスペインの思い出の写真という基準で選び出展して下さい。

写真のサイズは2Lまたはキャビネ以上で、額なしでも出展できます。

写真応募点数は原則として1人1枚としますが、複数枚の応募も歓迎します。

応募用紙をお届けしますので、10月15日(水)までにお申込み下さい。

写真展にご応募の方には、会場でスペイン赤ワイン・ワンドリンク券を差し上げます。

詳しいことは写真展委員にお尋ね下さい。

～ さくら交流基金募集スペイン写真展(第四回)について ～

- ☆ 主 催 横浜スペイン交流協会
- ☆ 共 催 横浜ブーミング倶楽部
- ☆ 後 援 スペイン大使館、スペイン政府観光局、(財)横浜市海外交流協会、神奈川新聞社
- ☆ 協 賛 スペインレストラン：『アマポーラ』、『オリーブ』、『カサ・デ・フジモリ』
JTB団体旅行横浜支店、太陽海外航空(株)、押し花の(有)コロネット
- ☆ 期 日 1997年11月15日(土)～23(日)
開催期間9日間のうち、15日(土)は設営のみ。16日(日)から公開(10:00～18:00)、
23日(日)は午後3時に終了後、撤去作業。
- ☆ 会 場 かながわ県民センター展示場 (1階 243m²)
神奈川区鶴屋町2-24-2
- ☆ 入場料 無 料
- ☆ 展示内容

第一部 ポート横浜からスペイン・アンダルシアへ送る写真展

セビリア市とロンダ市で開催する市民交流の日 ヨコハマ・デー のなかで、横浜ブーミング倶楽部のご協力をいただき、ヨコハマの姿を紹介する写真(四つ切)50枚を展示します。

これらの写真は展示後、スペインに贈呈してまいりますので、この機会にぜひご覧下さるようご案内します。

第二部 スペインの思い出の写真展

思い出の写真を囲んでワイワイやりましょう。

- ※ さくら交流基金の募金箱を設置して、一口300円以上の募金を募ります。
募金一口につきスペインの赤ワインのワンドリンク券を1枚贈呈します。
展示会場に歓談スペースを設けてあります。おいしいスペインの赤ワインをお楽しみいただきながら、スペイン大好きなお友達と交流できます。

∞ UN LIBRO ∞

ラモン・センドール作 / 横浜スペイン語講読会訳

ある神父の回想

～ ある若きスペインの農夫に捧げる鎮魂歌 ～

本協会が行っているスペイン語教室のあるクラスのOBたちが、横浜スペイン語講読会なるものを結成し、日ごろ自分たちが学習した成果を、世に問うべく翻訳したのが本書である。

『原作者のラモン・センドールは、スペインで最も広く名を知られた作家。この「ある神父の回想」は原作者自身が最も気に入っている作品で、老司祭ミリャン神父の回想を通してアラゴン地方のちいさな村を舞台に、純粋な理想主義から混乱した政治に巻き込まれ、やがて悲惨にもファシストに射殺されるという、ひとりの若き農夫の悲劇を描いたものである。』
(本書「あとがき」より)



- ※ 本書は一般書店では販売していないので、講読を希望する方は下記連絡先へお問い合わせください。

なお、価格は1部 500円

[A5版 86ページ]

連絡先：

赤堀 嶺男

第2回 押し花講習会 9月28日 開催

6月に続いて、9月28日に、第2回押し花講習会を行います。今回は額絵を作ります。前回は皆で和やかにすることができましたので、今回も皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

☆期 日 1997年9月28日 (日) 開場 13:30 講習 14:00~16:00

☆ 会 場 かながわ県民活動サポートセンター7階 710号室
神奈川区鶴屋町2-24-2

☆ 交通 横浜駅西口下車（徒歩5分）三越百貨店裏

☆ 費用 会員 2,500円 一般参加者 3,000円 (会場にてお支払い) 教材費を含む

☆ 講 師 丸山稚香子先生 (神奈川県押し花倶楽部・ふしぎ花倶楽部事務局代表)

※ お申し込みは、

下記の委員のいずれかにご連絡ください。

☆ 朝倉しとみ

☆ 宮川美匂子

☆ 石川美知子

スペインサロン“不思議な押し花”講習会(97.6.28.)に参加して！

鎌田 暁子

に、浜を、とた葉をい花に花、望の。よ
際、横何りていれなのてし内のし希々…いい
の、にお出たさ殊もっ押の生すの我がよ
問、か流のがみ意特る思、日たでもすい
訪、う交、加案て用となともものまとい生ま
い、民、参のつにトト、でそこ、シ先、い、
イと市に”や員ツ一か、も、ある、思、か
ペ国の議花非た。全セシの念は、とあ、事、ら、とて
ス両夕会し是し初なる残てこ題のかとこつ
ののン画押、ま、最種議作といる問然う、伺
月、ンロ企なてい、数思をつてせも、当よ、さ、を、
2イ・ウ議見て日花不花よめさのばし下、明
年、ペアイ思でし当しでしち始成るれでて説
(来スリと不本ク会押分押にり完すみいえの
回とピか“をワ習は自てけ作を意て多答方
次本セうの品ク講の。っだら品用えもにり
日と行こ作ワも書使たか作を考者声作

的し配も品の造りが
 性うやて作人創じべな
 個バいとのとをッかせ
 てを合ははつ景ヨ浮か
 し花色でで取情子を沸
 揮のな販らけのなみを
 発つか市な受そう笑欲
 を一や、りをよの意
 性。涼末作書べい面に
 術始。の手葉かし満品
 芸開り討。の浮嬉員作た。とや等具
 の作た検いこいも全のし書額ト家すり？
 自制え・な、思側。回で葉、ン、まあか
 各の変索せしをる分次会はがダ燭み感い
 ん品べ模出生顔送気も散回たン蠟らのは
 さ作並をし誕ぶるせくの今しべや膨限て
 皆なて置釀が喜す幸早ら ま・ブン無み

スペイン*ミニミニ情報

§ ★ § バルセロナ観光に便利な
バルセロナ・カード § ★ §

と二さバ 30%商引かの
「一売」がの割欠こ
ドル発と、料20のはに
ータでる館12%にみ
カ力所す 館8%光なす。
・の内示入20%観ちず。
ナナ案提のが8%ナリ
ロ口光を館料でろす通
セルセ観ド術用ソでの
ルのルの一美利ラレ下タ
「ババ駅力の設トバソ以セ
り、ツの27施スバそ以下
が、ンこのースプレす。は
リスサ。内ヤレまに金
よバ、す市ジレ11れの料
月るやまナレびらもの
年れ場い口よけいい
本ば広てセ50%お受ない
呼あれル〜店がせ力一日セ

利用：3,000ベ
2日セタ
2日セタ
3,500ベ
2,500ベ
2,500ベ
3日利用：
1日セタ

§ ★ § マドリード王立劇場
オープン § ★ §

10月11日マドリードの王立劇場がオープンします。これから落としのプログラムはフアリヤットの「三角帽子」と「はかなき人生」アチケットは劇場窓口かCaja de Madridで販売されています。料金は2.000~20.000 Pts.

＜編集後記＞

編んでくし野
頂とに伴
て間緒・
し人一長
加るし集
参て見編
々に発新
々めに「
人求に
のが互す。
くのおま
多ん、い
けみを思
だの、と
るてもい
来しな
出を切
集大い

* 投稿寄稿宛先 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
神奈川県民活動サポートセンター
レターケースNo. 184 横浜スペイン交流協会会報係